

第2章

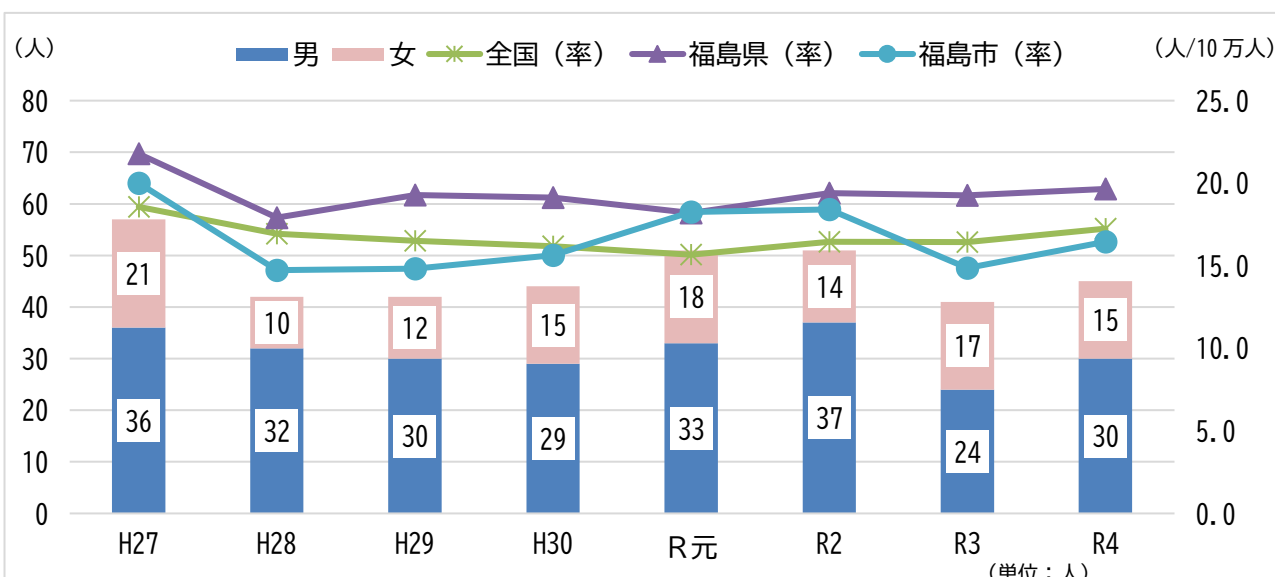
福島市の自殺の現状

第2章 福島市の自殺の現状

1. 自殺死亡率と自殺者数の推移

自殺死亡率および自殺者数はともに高かった平成27年と比べ、年によりバラつきがあるものの減少していますが、平成28年以降自殺死亡率は微増傾向にあり、自殺者数は増減を繰り返しています。

また、自殺者数は依然として交通事故死者数の数倍に上り、本市においても自殺は深刻な問題となっています。



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
男女計	57	42	42	44	51	51	41
交通事故による 死亡者数	4	12	3	5	8	8	3

図1 自殺死亡率と自殺者数の推移（平成27～令和3年） 出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
資料：福島市統計書

表1 自殺死亡率と自殺者数の推移（平成27～令和4年）

	自殺死亡率（人／10万人あたり）							
	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
全国	18.57	16.95	16.52	16.18	15.67	16.44	16.44	17.25
福島県	21.78	17.91	19.29	19.12	18.20	19.39	19.27	19.66
福島市	20.00	14.74	14.82	15.63	18.26	18.40	14.87	16.46

	自殺者数（人）							
	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
全国	23,806	21,703	21,127	20,668	19,974	20,907	20,820	21,723
福島県	428	350	374	367	346	365	359	362
福島市	57	42	42	44	51	51	41	45

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

2. 男女別・年代別状況

男女別では、各年および各年代とも男性の自殺者が女性を上回っています。

なお、平成29年から令和3年までの5年間の自殺者数（合計229人）では、30歳代の男性（30人）と50歳代の男性（28人）の自殺者が多くなっています。

特に、30歳代男性の自殺率（38.25）は、全国自殺率（24.45）を大きく上回っております。

また、60歳以上の高齢者は91人と全体の4割弱を占めています。

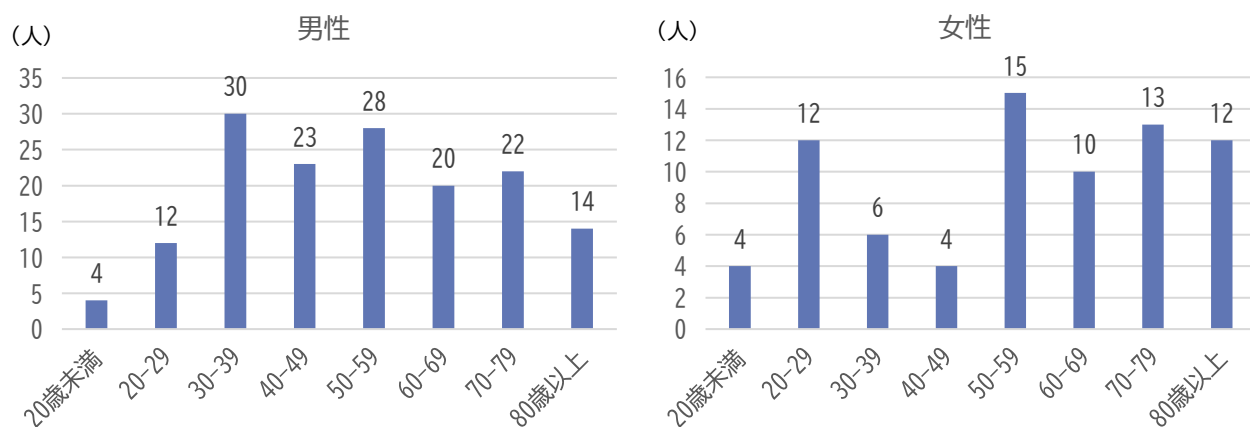


図2 男女別・年代別自殺者の状況（平成29～令和3合計）

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

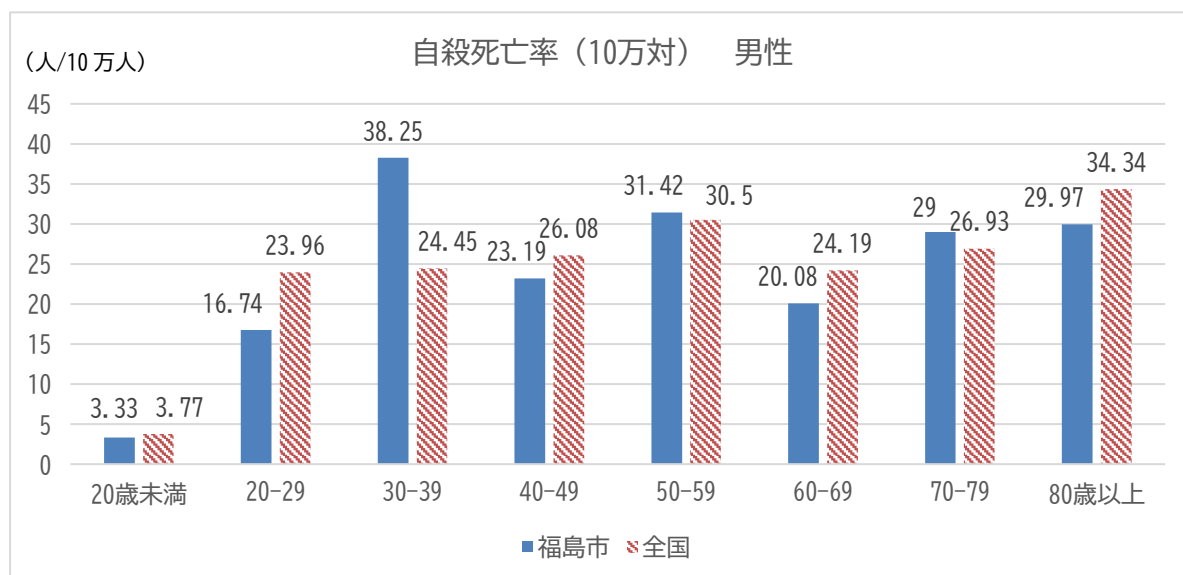


図3 男性の年代別の自殺死亡率（10万対）の推移（平成29～令和3合計）

出典：地域自殺実態プロフィールより集計

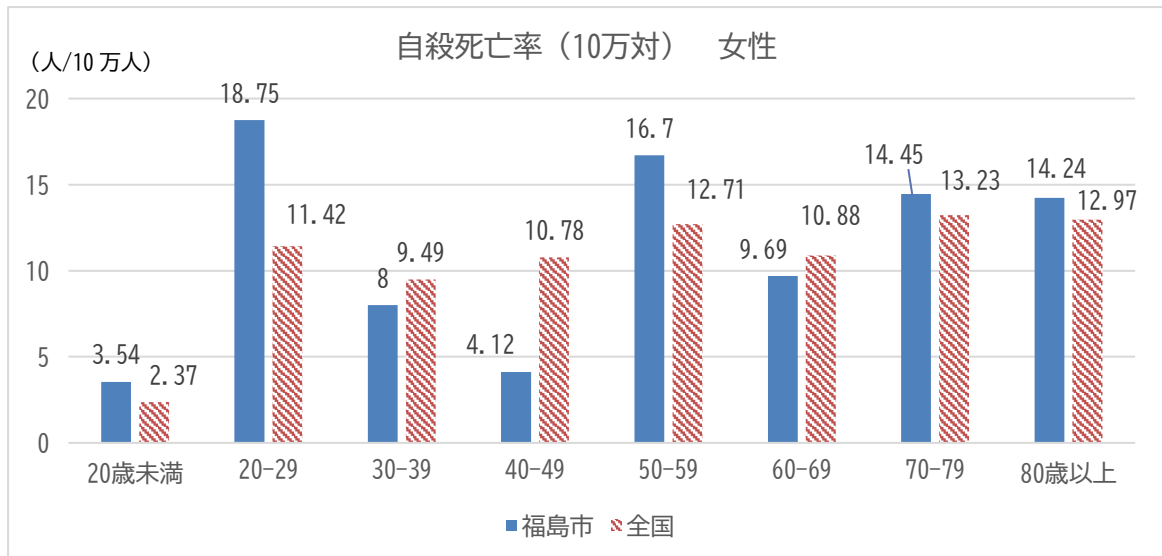


図4 女性の年代別の自殺死亡率（10万対）の推移（平成29～令和3合計）

出典：地域自殺実態プロフィールより集計

3. 性別・職業・同居の有無別状況

平成29年から令和3年までの5年間の自殺者数（合計229人）に対して、無職者の自殺者は132人（57.6%）、有職者の自殺者は97人（42.3%）となっています。

また、有職者を職業状況別に見ると、「自営業・家族従業者」が19人、「被雇用・勤め人」が78人となっています。

さらに、自殺者の年齢階級（下表「自殺者数と割合」）では、60歳以上の無職者男性が23人（10.0%）と多く、その次に60歳以上の無職者女性の自殺者が22人（9.6%）と多い傾向がみられます。

なお、本市においては、男女とも同居の方の自殺死亡率が高い傾向にあります。

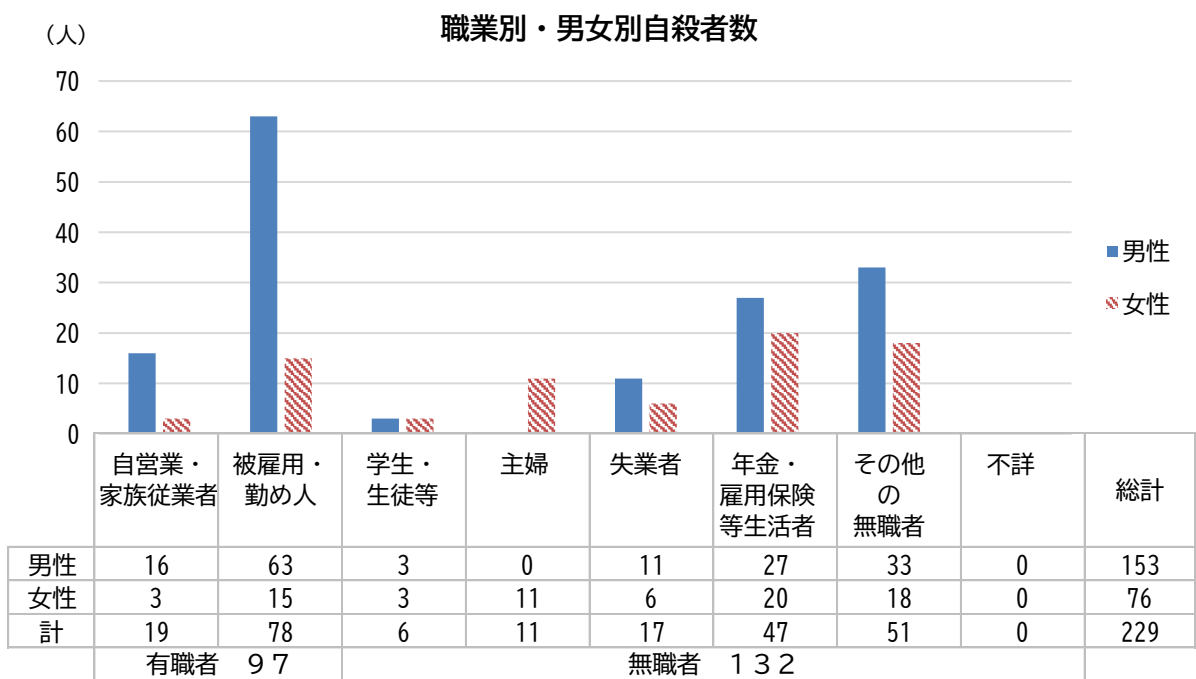


図5 職業別・男女別自殺者数（平成29～令和3合計）

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

参考：自殺者数と割合（平成29～令和3合計）※20歳未満と不詳を除く

	年齢階級	職業	同居	男性		年齢階級	職業	同居	女性	
				自殺者数 (人)	割合				自殺者数 (人)	割合
男性	20～39歳	有職者	同居	18	7.90%	20～39歳	有職者	同居	7	3.10%
			独居	10	4.40%			独居	3	1.30%
		無職者	同居	10	4.40%		無職者	同居	6	2.60%
			独居	4	1.70%			独居	2	0.90%
	40～59歳	有職者	同居	21	9.20%	40～59歳	有職者	同居	5	2.20%
			独居	11	4.80%			独居	1	0.40%
無職者		同居	10	4.40%	無職者		同居	9	3.90%	
		独居	9	3.90%			独居	4	1.70%	
60歳以上	有職者	同居	14	6.10%	60歳以上	有職者	同居	2	0.90%	
		独居	3	1.30%			独居	0	0.00%	
	無職者	同居	23	10.00%		無職者	同居	22	9.60%	
		独居	16	7.00%			独居	11	4.80%	

出典：地域自殺実態プロファイルより集計

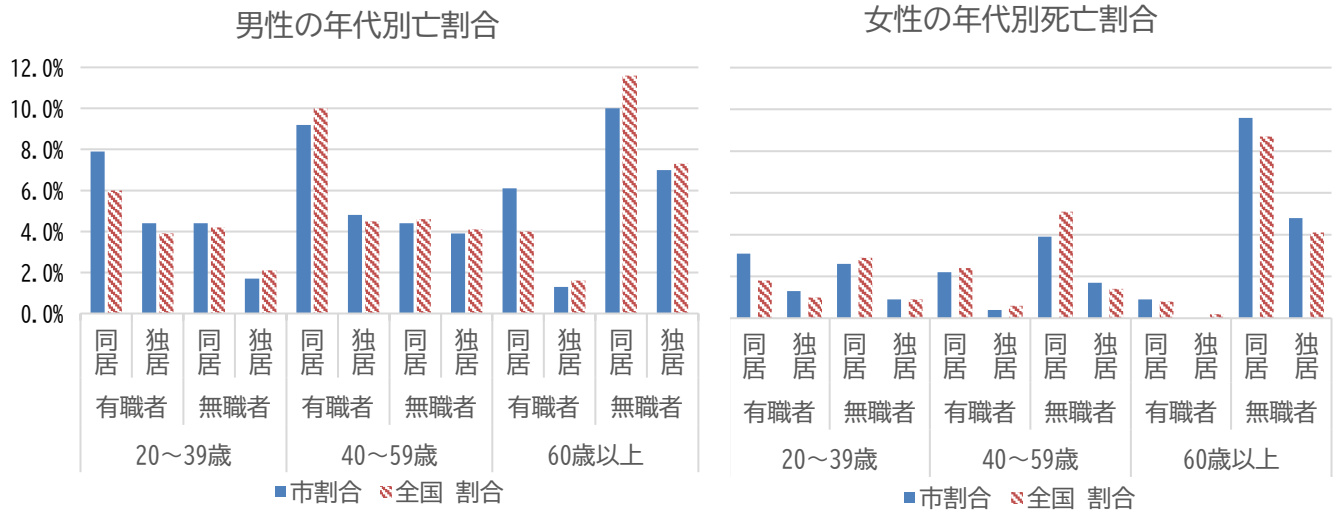


図6 男女別・年代別・職業別・同居の有無別にみた自殺者数の割合（平成29～令和3合計）

出典：地域自殺実態プロファイルより特別集計（住居地・自殺日）

4. 本市の自殺者の特徴

自殺総合対策推進センターでは、本市における平成29年から令和3年までの自殺者に関するデータから、自殺に至った背景にある危機経路を「地域自殺実態プロファイル」として分析しています。

表2 福島市の主な自殺の特徴（平成29～令和3合計）

【H29～R3の合計 229人（男性153人、女性76人） ※自殺統計（自殺日・住居地）】

自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率 ^(※) (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路 ^(※※)
1位:男性60歳以上無職同居	23人	10.0%	21.7	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位:女性60歳以上無職同居	22人	9.6%	12.4	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3位:男性40～59歳有職同居	21人	9.2%	14.9	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
4位:男性20～39歳有職同居	18人	7.9%	21.1	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺
5位:男性60歳以上無職独居	16人	7.0%	84.0	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺

(※) 自殺死亡率の算出に用いた人口(母数)は、総務省「令和2年国勢調査」就業状態等基本集計を基に、いのち支える自殺対策推進センターが推計した。

(※※) 「背景にある主な自殺の危機経路」は、「自殺実態白書2013」(NPO法人ライフリンク)を参考にいのち支える自殺対策推進センターが推定した。

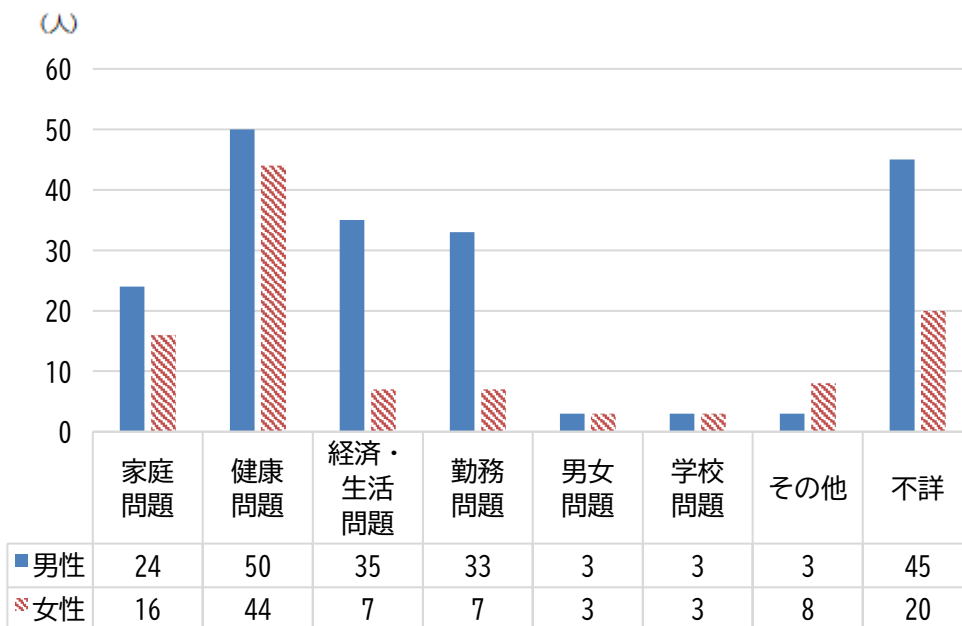


図7 原因・動機別自殺者数（平成29～令和3合計） ※複数回答あり

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」